

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



# イマジン通信

Vol.61



## 新年のご挨拶

理事長 澤島直通

新年、明けましておめでとうございます。皆様のご理解とご協力のお陰で穏やかな新年を迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。

昨年は、新しい事業を立ち上げ、職員も増えたお陰か、自分が直接支援に出ることが極端に少ない一年でした。理事長としては心強い話なのですが、支援者としては寂しくも感じます。今年は職員指導と言う名目でたくさんの支援に行きたいと思えます。

そんな中、地域では新しい事業所が出来つつあります。志太榛原圏域といっても広いです。まだまだ支援を必要としている障害当事者はたくさんいます。震災の復興や事故への対応などと違い、日常的なこの地域の中にその人なりの生活をして埋もれている方や本人の力では何ともできない状況に居る方もたくさんいます。

現在、各市町は『計画相談』という障害者の利用するサービス支給量を決定するための計画を立てることを義務付けられ、様々な相談事業所に委託を出しています。相談事業所も増員をしなくては事業実施が出来ない為に新しい相談員が配置されてきています。各市町の担当も移動等で変わっていきます。再び、「私は・・・」「うちの子は・・・」と話さなくてはならない時期が来てしまいました。知らない相手に分かってもらえるように話す。エネルギーのいることです。是非、計画相談のかかった方はご一報ください。支援を通じて知り得た本人の姿、思いを説明させていただきます。ますます、支援に行きたくて現状を把握する必要がありますね♪

制度がどのように変わっても、サービス事業所が増えていっても、私たちの目の前にいる方を大切に支援を続けていきます。出会わせていただいた“ご縁”を大切に♪

今年は、放課後等デイサービス事業「この指とまれ」の定員数拡大と生活介護事業「風のこえ」の利用者拡大、ヘルパー事業「障害者支援センターイマジン」の体制の見直しを行ないます。もちろん、並行してグループホーム・ケアホーム事業も進めていきます。前進と見直しを続けていくのは変わらないですね。

穏やかですが、ゆっくりとはしてられない年になりそうです。今年も皆様のご理解とご協力をいただき、利用者と共に、また、ご家族、職員と共にイマジンの目指す障害者支援の実現に向けて尽力いたします。

今年も「必要な支援を必要な時に！」を心に持ち、共に良き一年にしていきたいと思います。



## ショートステイに来る2人のお友だち♪

Rさんは一ヶ月に一回必ずショートステイを利用している自閉症の女の子です。少しでも生活の形がズレると、固まって次の行動にうつせない子です。その為、対応する人、寝る居室、食事の席、生活の流れ、言葉掛けの統一をして支援を行っています。以前は、玄関の扉から外をのぞき、時には涙を流し…お母さんの車をずっと待っていました。不安な気持ちがあると、食事や睡眠が取れなくなってしまいます。ショートステイを何度か続けることで、今では和室で積み木やテレビを見て過ごせるようになりました。泊まりに来るたびにおかわりをするほど食事はスムーズです。睡眠も取れるようになり、とても成長してきました。

Mさんは自由人。好きな居場所を自分で見つけ、一人で遊びます。支援者を捕まえては関りを求めてきてくれることもあります。嫌なことは嫌！好きなことは好き！とても表情豊かで、分かりやすく行動や仕草で教えてくれる自閉症の女の子です。寝る居室、食事の席、生活の流れはシンプルに分かりやすく支援を行っています。

ある日、RさんとMさんがお泊りに来きました。Rさんと、Mさんは食事の席も、寝る居室も同じです。「食事の席はどうしよう…」「時間をズラして食事をとってもらおうか…」と考えます。夕食の時間が近づいてくると、Mさんがお腹を空かせて食堂へ入ってきました。いつものように自分の席へ座り、食事を待ちます。食事を待つMさんを見て、Rさんが『Mさんと一緒にご飯食べる！』と訴えてきてくれました。「一緒に食べることは難しいのかな…。」「Rさんはいつもと違う席だけど大丈夫だろうか…」「ちゃんと食べれるだろうか…。」と考えてしまいます。でも、Rさんの言葉を聞き、やってみようという気持ちになりました。食事の時間になり、Rさんは『こっち座る。』とMさんの隣の席に座ります。いろんな心配をしていましたが、パクパクと自分から食事を取るRさんを見て、心配事が一瞬で消えてしまいました。ホッとした瞬間でもあり、嬉しく感じました。

就寝時間になり、Mさんにいつもと違う居室で寝ていただきました。不安もありましたが、ぐっすり寝ている姿をみて再び安心しました。変化にしっかりと対応できる2人の姿を見てとても誇らしく感じた出来事でした。

支援をしていると、考え、悩み、迷いもあります。しかし、いつも私の背中を押してくれるのは、今回のようにRさんの言葉やMさんの姿です。利用者の皆さんから「大丈夫だよ♪」と言ってもらえるよう、私自身も考え方の幅を広げ、利用者さんと一緒に成長できたらと思います。(担当 天野)



## つつい雨やどりの生活 ⑳

新年あけましておめでとうございます。つつい雨やどりの入居者は18名中5名の方が帰省され、ちょっぴり静かなお正月を迎えました。と言っても、元旦には殆どの方が帰宅され、みんなで初詣やドライブに行ったり、世話人とお散歩に行ったりとワイワイガヤガヤ。それでも、のんびりとした休日を送りました。今年は長い連休になりましたが、事前に個々の予定を組み立てておいた事もあり、生活が大きく乱れる事も無く、穏やかに初出勤・初登所を迎える事ができました。

今年最初のお話は、「世話人は親になれない?!」がテーマです。最初に言ってしましますが、もちろん親にはなれません。親子関係になれないだけでなく、精神的に親としての役割を担うことも難しく、たとえご家族が亡くなって天涯孤独の身になったとしても、親・家族になることはできません。それだけ「親」「家族」とは特別な存在なんですよ♪

ただし、親御さんに代わって出来る事は沢山あります。身体的なケアや衣類、環境など生活面の支援はもちろん、日中活動先とのやり取りや実績の確認、通院の管理や薬の調整、支給申請や各種手続き・申込みの補助など…。もちろん、近くの親しい他人(笑)だからこそできる精神的な支えも一番大きな役割です。

GHCHをスタートして一番実感したのは、親・家族としてすべきことの多さと、それをこなしてきたご家族の偉大さです。正直、直接的な支援よりも、時間を使い、頭を悩ませる事があるくらいです。担当のスタッフたちは、ご家族、そしてご本人に代わって悩み、考えながら、精一杯代わりとなれる様に支援をさせていただいています。手続き等のため、市役所、銀行、社会保険事務所など、自分の生活ではなかなか行く機会のない場所にも何度と無く行かせていただきました。そして、ご家族に代わって行かせていただいた事は、電話や訪問、保護者会等で報告をさせていただき、可能な場合はケア会議等に同席していただくこともあります。しかし、離れて暮らすご家族は、ご本人の状況を事細かに把握する事はできません。だからこそ、世話人は誰よりもご本人の代弁者となり得るように、見て・考えて・記録を残していく必要があります。

最近では、計画相談や区分の認定調査等の場面で、ご家族に代わって立ち合わせていただく機会が増えてきました。自分から上手に表現できない、訴える事が出来ない利用者さんにとっては、こちらの訴え方如何で生活が変わってしまう程、重要な役割になります。しかし、私たちの代弁を相手に理解してもらう事は、思っていた以上に難しい事でした。いかに「ご本人の生き辛さ、困難さ」を理解してもらえるか、どれだけ「ご本人の頑張り」を伝えられるか…。こちらの訴え方だけでなく、相手の受け取り方で「困難さ」が「障害の特性」の一言で終わってしまう事もあるのです。そして何よりも難しい事は、「安定した穏やかな生活」を目指せば目指す程、ご本人の障害を理解していただくのが難しくなる事です。先程も触れたように、世話人たちは少しでも安定と安心した生活を目指し、日々悩み・考えています。その努力もあってか、多くの入居者の皆さんは、時間の経過と共に生活が安定していきます。しかし、それはご本人の「障害」が治ったわけでも、良くなったわけでもありません。生活環境がシンプルになり、生活の流れが統一され、関わり方が変わり…など、GHCHだからできる様々な積み重ねがあるからこそ見る事ができる姿なのです。しかし、関わり方の薄い相手から見える姿は「安定したご本人」であり、「出来る人」という印象が強くなってしまい、根底に在る「困難さ」を理解してもらう事ができません。障害程度区分や計画相談・特定相談によって支援が決まる現在の制度では「現状の見える姿」だけでなく、「ご本人自身」をいかに伝えられるか、理解していただけるかがとても重要だと実感しています。

「親になれない」とは言え、毎日見せてくれる姿にかわいいなあと思ったり、初めての体験にドキドキしたり、出来た事を喜んだり、時に悲しんだり…気持ちは家族と一緒に！ご家族には全く持って及びませんが、少しでも皆さんの代弁者となれる様、これからも頑張っていきたいと思います。今年も温かく、そして厳しくご指導いただけます様、お願い致します。(担当 二宮)



## 今月の世話人のつぶやき (いよいよ雨やどり)

明けましておめでとうございます。今年もいよいよ雨やどりをよろしくお願い致します。年明け早々ですが、昨年のクリスマスのお話です。

N君は夜7時ころに仕事から帰ってきました。普段のように帰宅後にやることを済ませてから、もう一度外へ出て行きました。世話人である私は「おや?」と思いながらもそのまま待っているとすぐに戻ってきたN君の手に白い箱が2つありました。

「今日はクリスマスだからみんなでケーキ食べようぜ!世話人の分も買って来たから!」と言ってケーキを渡してくれました。そこから、いよいよ雨やどりのクリスマスパーティーが始まりました。みんなはサプライズにビックリ!ツリーがあるわけでもクリスマスの飾りがあるわけでもありませんが、みんなの笑顔がそこにはありました。

ケーキを選ぶ時、N君は「俺は最後でいいから先にみんなに選んでもらって!」と言って、他の入居者さんを優先してくれました。一人づつ好きなケーキを選んで、「メリークリスマス!」とみんなで言うてから食べました。「サンタさんはN君だったんだね」と言う他の入居者さんは「N君ありがとう!」と自然にお礼の言葉を言ってくれます♪それに対してシャイなN君も「また来年な!」と笑顔で返していました。







誰かに贈り物をするときは、相手の事を思い喜ぶ姿を想像しながら品物を選ぶと思います。今回、N君がしてくれた素敵な贈り物がみんなを幸せな気持ちにしてくれたことは間違いありません。そして自分より相手を優先する気配りや配慮をしてくれたN君。そのことが素晴らしいことだと思います。やろうと思っただけでできることではないと思います。その温かく輝く姿に感動しました。

いよいよ雨やどりにサンタさんが来てくれたおかげで穏やかな年明けを迎えることができました。2014年、いよいよ雨やどりはどんな思い出を刻むのか今から楽しみです。その為には入居者さんと世話人が一緒になってどんな家にしたいのか一緒に想像して一緒に築いていければと思います。(担当 稲葉)



## ケアホームでの取り組み

ケアホームの入居者さんにとって、休日の過ごし方というのはとても大事です。入居者さんの中には休日の予定を自分で決めることができない方が多くいらっしゃいますので、私たち世話人が入居者さんの休日の予定を考えさせていただいています。入居者さんたちの健康状態、通院状況、通所先の予定を考え、その後に休日の余暇等を考えていきます。ただ休日を埋めていくのではなく、ご本人さんの意向等を確認しながら1ヶ月の予定を決めさせていただきます。

そんな中で、感じる事がいくつかあります。例えば散歩という支援を考えたとき、健康のためなのか？気分転換なのか？運動メインなのか？など散歩1つを考えても様々な目的があります。その内容によって支援方法も異なり、意味のある支援ができると思っています。また、ご本人の意向を取り入れた内容にするといったことも非常に大事です。ただご本人の意向すべてを聞き取って反映させるのではなく、「何でこの内容をやりたいと言ったのだろう？」と考えることが大事です。支援者側からすれば仕事の1つですが、ご本人さんたちにとっては貴重な時間であるし、生活ですから有意義に充実した時間を過ごしていただきたいと思います。こんなことを考えながらも実際はうまくいかないことも多く、世話人1人1人が本当に入居者さんたちの現状理解ができていなかったり…、本人の気持ちを汲み取れていなかったり…、支援者側だけの考えや思いであったり…、と支援者側の理解と努力が足りない場面が見受けられます。

支援の中でも『余暇支援』はとても大切な支援です。遊びやリフレッシュといった気持ちへの支援は日常となる日中活動や仕事に向ける気持ちを作ります。他者との関わりを受け入れる気持ちを作ります。また『前月と同じ内容で・・・』なんて考えていると、気持ちのバランスを取りづらいうちから崩れていき、とんでもないことになってきます。

うまくいかない理由は簡単で、入居者さんとの関わり方の希薄さ、世話人同士での情報交換等が考えられます。日々の記録や何気ない会話、関わりを大事に、忙しい中でも時間を上手に使いながら『入居者さんのために！！』と常に思って関わり、考える。意識を持つこと、関心を持つことが大切です。

自然と入居者さんのことが大切になり、愛おしくなり、気を配れるようになり、充実した生活を提供できるよう取り組んでいます。(担当 杉崎)



## 今月の世話人のつぶやき（そろそろ雨やどり）

そろそろ雨やどりは、二十歳前後の若者からもうすぐ還暦を迎えられる方まで男女16名の入居者さんが生活されています。

みなさん、趣味や興味関心のあることも様々で、いろいろなことが話題になります。外出が好きな方は「〇〇に行きたい」「△△を見たいな」とみんなと行き先の相談。読書が好きな方は経済学や政治学の本を読まれて世話人と一緒に「ちょっと難しいですね～(笑)」。テレビ番組が好きな方は「勝った。勝った。白鷗、勝ったってさ！」と教えてくれたり、ホラー番組を見た方は「チョー怖かった・・・」と真剣な顔で伝えてくれたり・・・。お手伝いが好きな方は、夕食でのテーブル拭きや料理の盛り付け、お部屋や廊下、階段をお掃除してくれます。「できたよ！」「ありがとう！」上手に出来て入居者さんと世話人が一緒にニッコリ笑っている姿も見られます。

日中はそれぞれの就労先、通所先での活動がんばって取り組んでいます。帰宅すると「今日、作業がんばったよ！」「ああ～疲れた」「忙しかったよ～」など、その日の様子を伝えてくれます。暑い日も寒い日も、がんばって自転車で通勤されている方もいます。雨の日はカッパを着て通勤していますが、それでも濡れてしまって帰宅されることもあります。そんな時、迎えた世話人が「お帰り、大変だったね。」と声を掛けると、涙目で「もーやだ！」なんてことも・・・。暖かいお風呂と食事を用意してみんなが帰りを待っていました。入浴と食事を済ませ、ほっとした表情に戻った姿を見て世話人も安心すると同時に「がんばってるんだな」と胸が熱くなることも・・・。

ショートステイの方が来ることを楽しみに待っている入居者さんもいます。お話をしながら一緒に楽しく食事をしたり、テレビやDVDを仲良く見ることもあります。

そろそろ雨やどりは、みなさんの「お家」です。みなさんが安心して、元気に、楽しく、仲良く生活していただけるように世話人も一緒に毎日を大切にしていきたいと思っています。(担当 岡本)



## 平成25年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成25年度の正会員の募集をしています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆小山公祐 ☆堀田ふさ

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771

特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



## 新年を迎えて♪

明けましておめでとうございます。冬休みもあつという間に終わり、また日々せわしなく過ぎていっている「この指とまれ」です。

「この指とまれ」が開所し1年が経ちました。この1年を振り返ってみると、怒涛の1年だったなあという感じがします。初めは子どもたちについていくのに精一杯だった私達支援員も、最近では「この子、前より〇〇ができるようになったよね」と子どもたちの成長を感じることができるようになってきました。何事も「継続は力なり」ですね♪

「この指とまれ」に通う子どもたちの中には、電車が好きな子、数字が好きな子、機械類が好きな子、CMを覚えている子と色んな子がいます。今までは踏み切りで停まっても特に気にならなかったのが、最近では貨物列車が通ると嬉しかったり、積んでいるコンテナの種類がわかったりしたり、何気なく聞き流していたCMも「これあの子が歌っていたCMだ！」と嬉しくなったりと、知らないうちに子どもたちに影響されている自分がある事に気づきます。

この1年間も子どもたちからたくさんの事を学び、影響を受けさせてもらって、子どもたちの成長に負けないように支援員も成長していけるように努めたいです。(担当 油井)

### ◆◆ 放課後等デイサービス「ころりん」 ◆◆

障害者生活支援センターおのころ島(藤枝)が、26年度の新学期より放課後等デイサービス「ころりん」を開所します。障害当事者による障害児への支援♪楽しみですね♪

相談支援で培った“ピア”の考え方で子供たちに関わっていくことと思いますよ。

対象 特別支援学校 就学児(小1~中3) 定員10名

時期 平成26年 4月より開所予定

場所 藤枝市 時ヶ谷(予定)

問い合わせ先: NPO法人障害者生活支援センターおのころ島(藤枝市郡1-3-27 TEL 054-641-7001)

### ◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。 ◆◆

今後のケアホーム事業を始めとする全ての事業を継続していくため、強い法人づくりを行っています。安定したの提供、法人運営に建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771

特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通 ※お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。

### 【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20

TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371

e-mail imagine@za.tnc.ne.jp

http://www3.tokai.or.jp/imagine/

初倉事務所(つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1

TEL / FAX 0547-30-4117

e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

